

京急電鉄 デト11・12

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 誤飲の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気を付けて組み立ててください。
- ステッカーは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の際の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

(お買い上げのお客様へ) 不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

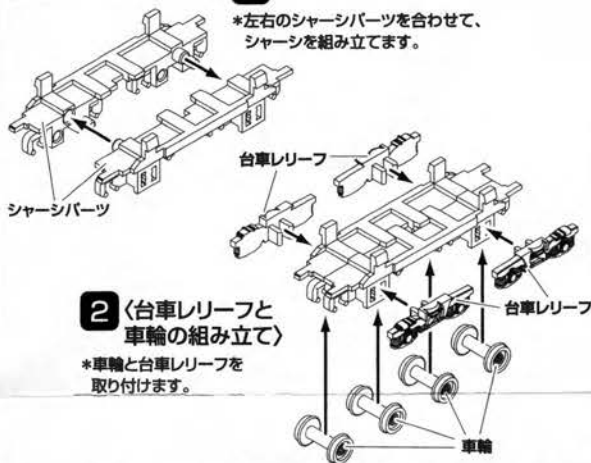
《電話受付先》 パンダイお客様相談センター
〒277-8511 柏市豊四季241-22 ナビダイヤル **0570-041-101**
●受付時間 10時～17時(祝日、夏季・冬季休業日を除く)
PHS、IP電話等をご利用の方は04-7146-0371におかけください。

《商品・修理品送付先》 パンダイ 栃木修理・配送センター
〒321-0298 栃木県下都賀郡壬生町おまのまち5-4-67
●営業時間 10時～17時(土、日、祝日、夏季・冬季休業日を除く) 電話番号はお客様相談センター共通

シャーシの組立て

1 (シャーシの組立)

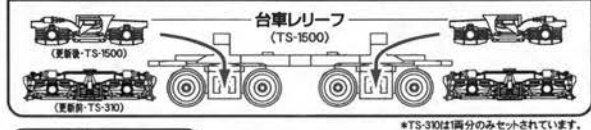
*左右のシャーシパーツを合わせて、シャーシを組み立てます。



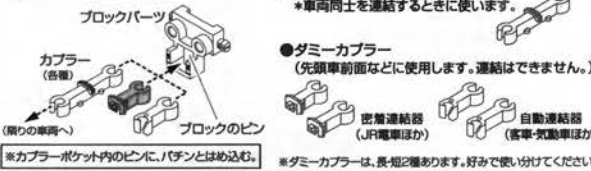
2 (台車レリーフと車輪の組み立て)

*車輪と台車レリーフを取り付けます。

台車レリーフの向きに注意。



カプラーの取付け方



Nゲージ化用パーツの取り付け方法

*各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビーショップなどでお買い求めください。

*Bトレインショーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

①機関車への動力ユニットの取り付け

- 「Bトレインショーティ専用動力ユニット①・機関車用」を使用します。
通常色(黒)と、グレーがあります。
*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
*スノープロウは着脱可能です。(カプラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)

- *EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長いためカプラーの首振り量が充分にできません。直直運転や、極小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車及び路面電車への動力ユニットの取り付け

- 「Bトレインショーティ専用動力ユニット②・電車・気動車用」もしくは「同 動力ユニット④・路面電車用」を使用します。
*左右4箇所の爪で、車体と固定します。
*ゆるい場合には、両面テープなどで固定してください。

- *イラストは「動力ユニット②・電車・気動車用」です。「動力ユニット④・路面電車用」には前後のカプラーはありません。
*床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
*台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加ウェイトは、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

- 「Bトレインショーティ専用走行台車①」を使用します。
*付属の床板パーツを使用し、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
*取り付けがゆるい場合には、走行台車の取り付けピンを広げて調整してください。
*台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
*旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカプラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- *台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- *スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取外すか、または台車のカプラー部分を切り取ってから装着してください。
- *新幹線など車体側にカバーのある車両では、台車レリーフを取り付けできません。

- *SGフレームでは、Nゲージ化する場合はブロックパーツのうちカプラー取り付けの「ピンなし」を使用します。(または、ピンを切り取ってください。)
- *先頭車でスカートとダミーカプラーを付ける場合は、ブロックパーツは「ピンあり」を使用して、走行台車のカプラー部分を切り取ってください。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
*線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
*Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。

- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
*動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

- ①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください) *EF64e、DF50、DD53など、裾の低い車両に装着できません。

- 品番11-103 ポケットライン用動力ユニット
*11-103は、購入時にはカプラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

- ②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ 通勤電車①コイルバネ台車タイプ DT33タイプ 103系など
- 品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ 急行電車①空気バネ台車タイプ DT32タイプ 165系、485系など
- 品番11-107 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ 通勤電車②ボルスタレス台車タイプ DT61タイプ E231系など

- *「チビ客車用動力ユニット」は、手すりを切り取って装着します。(車両によっては、床板の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

- ③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

- 品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ
- 品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ
- 品番11-097 通勤電車②: ボルスタレス台車タイプ

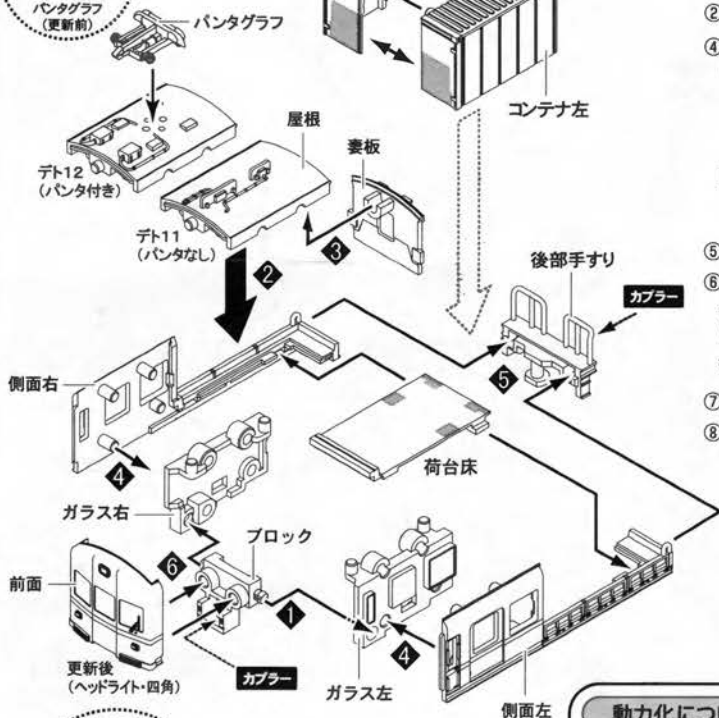
- このほか、割りピン取り付け方式の、各社台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換

- *お好みのNゲージ用パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。
- KATO: 11-401 PS14: 直直パンタグラフ グリーンマックス: 80-2: PS13: 直直パンタグラフ
- KATO: 11-403 PS22: 直直・下降交差パンタグラフ グリーンマックス: 80-3: PT42: 直直パンタグラフ
- KATO: 11-404、11-420 PS16: 直直パンタグラフ グリーンマックス: 80-5: PT43: 直直パンタグラフ
- クロスサイン: PT71C: シングルアーム・パンタグラフ
- *11-420は、重積穴が4個の重積に対応します。

- このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。
- *各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(無い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。また、パーツによっては加工が必要な場合もあります。
- *動力ユニットの装着には、車種によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

先頭車



*おまけパーツのうち、更新前用・前面、台車レリーフの各パーツと、コンテナの部品は、1両分のみの同梱となっています。
*本商品では、更新後・2両編成、または、更新前、後を1両ずつ組み立てることが可能です。

ステッカーの貼付け位置

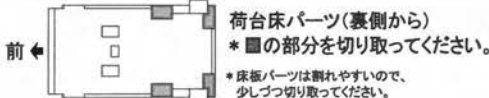
貼り付け位置の参考例です。台紙からお好きなものを選んで、切り抜いて貼ってください。商品の仕様により、画像と一部形状が多少異なる場合がございますのでご了承ください。
(刃物のお取り扱いには、充分にご注意ください。記載の無いものはお好みの位置にお貼りください。)



*コーポレートは左側面のみ。更新前は

車体の組立て

- 左右のガラスの前寄りにブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。
- 屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- 屋根に妻板を取り付けます。
- 妻板、床板をさみながら、左右の側面を取り付けます。
(動力化の場合は床板を付けません。)
*コンテナを使う場合は、荷台床の4箇所を切り取る加工が必要です。
- 後部手すりを取り付けます。
- シャーンにつめに合わせて車体をかぶせます。
*コンテナを使わない場合は荷台寄りのシャーンにつめを切り取ってください。(シャーンが車体から浮き上がる場合は、両面テープなどで固定してください。)
*コンテナを使う場合は組立てたコンテナとシャーンにつめを合せます。
- 前面を取り付けて完成です。
- カブラーを最後にブロックのピンに取り付けます。
(荷台側は、後部手すりのピンにドローバーを取り付けて連結します。)

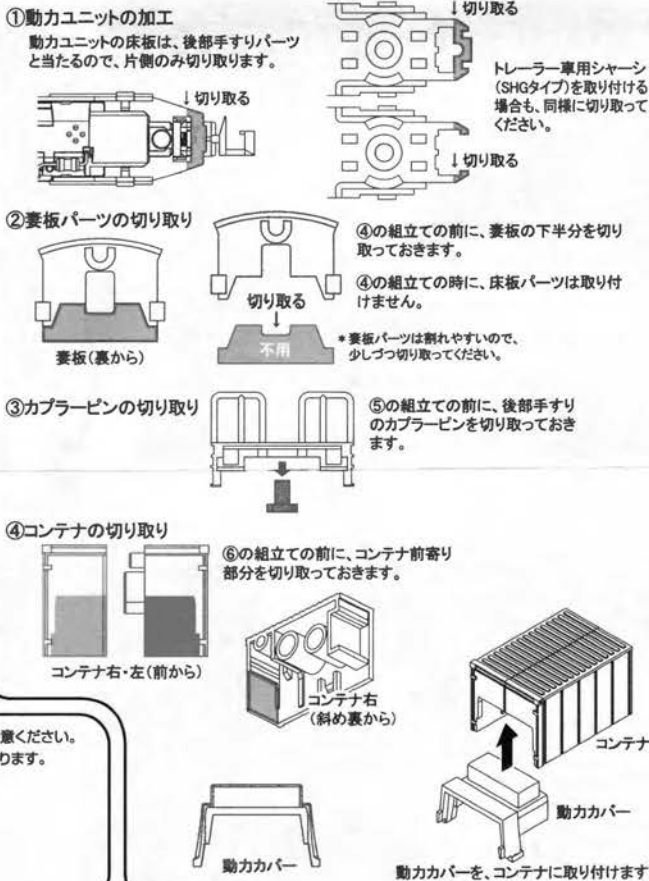


*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。
*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。前面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。
*また生産の都合上、予備パーツが含まれている場合があります。あらかじめご了承ください。

動力化について

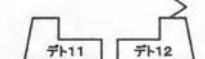
上級者向け加工。

動力ユニットを装着する場合には、荷台床パーツを使用しません。また妻板、コンテナ等の各パーツの切り取り加工が必要になります。



実車の編成例

← 浦賀 品川 →



*時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。
*記載されている編成の一部車両は再現できない場合があります。あらかじめご了承ください。

*デト11+12は、2両ひと組で構成。連結器は棒形連結器で固定されています。

車体番号(小サイズは正面用)

11	11	11	11	11	11
12	12	12	12	12	12
13	13	13	13	13	13
14	14	14	14	14	14
15	15	15	15	15	15
16	16	16	16	16	16

KEIKUマーク



KEIKYUロゴ



KEIKYU KEIKYU KEIKYU KEIKYU

特選車

救 援 機 材

救 援 機 材

特選車

救 援 機 材

救 援 機 材